

静岡県月例経済報告

(平成29年6月号)

……平成29年4月を中心とした県内経済のすがた……

No. 494

—静岡県経済産業部—

目 次

I 静岡県経済の概況	1
II 静岡県主要経済指標の概況	4
・ 需要面	4
・ 生産面	13
・ 雇用面	15
・ その他	18
III 静岡県主要産業の動向	22
IV データからみた県内主要産業	25

利用にあたって

- 1 本月報は、本県経済の状況について、経済統計及び産業動向をとりまとめたものである。
- 2 本月報は4部から構成されている。
- 3 第1部では、本県経済の概況について経済統計データを中心に述べているが、指標によっては当該月データが未公表のため前月値を用いる場合がある。これらの指標は文中に示している。
- 4 第2部では、本県経済の動向について主要経済指標を用いて、データとグラフで示している。
- 5 第3部では、本県の主要産業動向について簡単にまとめている。
- 6 第4部では、本県の主要産業動向についてデータで示している。
- 7 本月報で用いた ▲はマイナスを表している。
- 8 数字の単位未満は四捨五入することを基本としているが、情報提供元の公表方法に準拠させている。

この「静岡県月例経済報告」は、静岡県経済産業部のインターネット・ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス(URL) <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>

I 静岡県経済の概況

〔本稿は、平成29年4月を中心とした経済統計及び企業ヒアリングをもとに取りまとめている。〕

概況

平成29年4月を中心とした静岡県の景気は、緩やかに回復しつつある。

先行きについては、底堅い設備投資意欲などを背景に、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されるものの、生産の回復状況と海外経済の動向に注意する必要がある。

雇用情勢は、改善の動きを続けている。

- ・ 個人消費は、持ち直しつつある。
- ・ 設備投資は、持ち直している。
- ・ 輸出は、持ち直している。
- ・ 生産は、持ち直しの動きがみられる。

需要面

◎個人消費は、持ち直しつつある。

大型小売店販売額(4月)は、百貨店が3か月ぶり、スーパーが5か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも、5か月ぶりに前年実績を上回った。

専門量販店等販売額(4月)は、ホームセンターが3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店、ドラッグストアがいずれも2か月連続、コンビニエンスストアが10か月連続で前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

自動車(新車)新規登録台数(4月)は、乗用車が9か月連続、軽自動車が2か月連続で前年実績を上回ったことから、総数でも6か月連続で前年実績を上回った。

◎住宅建設は、前年を下回った。

新設住宅着工戸数(4月)は、持家が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家が4か月連続、分譲住宅が2か月ぶりに前年実績を下回ったことから、全体でも2か月連続で前年実績を下回った。

◎公共投資は、前年を上回った。

公共工事請負金額(4月)は、5か月連続で前年実績を上回った。

◎設備投資は、持ち直している。

日銀短観(平成29年4月3日)の平成29年度の設備投資(含む土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資(除く土地投資)(計画)は、製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

着工建築物床面積(非居住用)(4月)は、3か月ぶりに前年実績を上回った。

◎輸出は、持ち直している。

輸入は、前年を上回った。

輸出総額（4月）は、エアコンが4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機が4か月ぶり、自動車は6か月連続、自動車の部分品が8か月連続、二輪自動車類が4か月連続、科学光学機器が2か月ぶりに前年実績を上回ったことから、総額でも6か月連続で前年実績を上回った。

また、輸入総額（4月）は、紙類及び同製品で前年実績を下回ったものの、魚介類、パルプなどで前年実績を上回ったことから、総額でも2か月連続で前年実績を上回った。

なお、輸出入のバランスは、1,128億円の輸出超過となった。

生産面

◎生産は、持ち直しの動きがみられる。

鉱工業生産指数（3月）は、はん用・生産用・業務用機械が3か月連続、化学が6か月連続、パルプ・紙・紙加工品、食料品・たばこがいずれも7か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械が5か月連続、輸送機械が4か月連続で前年水準を上回ったことから、総合でも3か月連続で前年水準を上回った。また、5か月ぶりに前月を下回った。

なお、鉱工業在庫指数（3月）は、総合では7か月連続で前年水準を下回った。

雇用面

◎雇用情勢は、改善の動きを続けている。

有効求人倍率（4月）は1.51倍で、前月を0.04ポイント上回り、また、39か月連続で1倍を上回った。なお、2か月連続で全国値を上回った。

雇用保険受給者実人員（4月）は、45か月連続で前年実績を下回った。

また、所定外労働時間指数（3月）は、前年を上回った。

その他

◎金融環境は、貸出残高は前年を上回り、信用保証金額は前年を下回った。

県内金融機関の貸出残高（4月）は、前年同月比2.0%増と前年実績を上回った。

信用保証協会保証金額（4月）は、前年同月比17.7%減と前年実績を下回った。

◎企業倒産は、件数、負債総額いずれも前年を下回った。

企業倒産（5月）は、件数は18件で前年同月比48.5%減、負債総額は、同73.4%減と、いずれも前年実績を下回った。

<<県の取組>>

【～今年は426店舗が参加！～ ふじのくに“節電避暑店”キャンペーン2017】

暑い夏の昼間を、クーラーの効いた家庭ではなく、涼しい小売店等で過ごすことにより、地域商業の活性化につなげる「ふじのくに“節電避暑店”キャンペーン2017」を開催します！

1 内容

「ふじのくに魅力ある個店(※)」では、「ふじのくに“節電避暑店”キャンペーン2017」として、昼間に来店されたお客様を店舗独自の取組により、涼しさを感じるおもてなしで接客します。

また、おもてなしの取組内容については各店舗のほか、県HP等でPRします。

なお、本キャンペーンは今年で7年目を迎えます。

〔過去のおもてなし例〕

- ・自家製梅ジュース、ハーブティ、冷茶等の提供
- ・休憩スペースの設置
- ・風鈴、うちわ等涼しげな小物による店内の装飾のほか各店が独自の工夫を実施

2 参加店舗(節電避暑店)

「ふじのくに魅力ある個店」宣言店428店舗のうち、

426店舗が参加(6月13日時点)

参加店舗は目印として、右記の小旗を掲示しています。

3 期間

6月15日(木)(暑中見舞いの日)から9月30日(土)まで

4 問合せ先

県経済産業部商工業局地域産業課商業まちづくり班

TEL: 054-221-3344

節電避暑店キャンペーン URL

<http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/sa-570/hishoten.html>



※ 「ふじのくに魅力ある個店」登録制度・・・

目的 基本理念に賛同し、所定の項目を宣言した「ふじのくに魅力ある個店」を県に登録し、一般消費者や商業者に対し情報発信・PRすることで、県内に魅力ある個店を増やし、地域商業の活性化を図る。

対象店舗 経営者である店主自らが、接客などに直接携わり、昼間営業している小売店・飲食店等の県内にある個別の路面店舗(チェーン店、大型店テナントを除く)

基本理念 魅せ(店)・ひと(人)・しな(品)

・地域とともに歩む「商店」であること

・お客様に愛される「商人」であること

・オンリーワン(こだわり)の「商品(サービス)」を提供すること

宣言項目 地産地消、安心安全、ユニバーサルデザイン、環境配慮、ものづかい、子育て支援、創意工夫

<1つ以上を宣言>

登録店数 428件(6月13日時点)

II 静岡県主要経済指標の概況

需 要 面

1 個人消費

(1) 大型小売店販売額

4 月 = 33,040百万円

*前年同月比： 0.5%増

(県内3百貨店、132スーパー合計)

<概況>

4月の大型小売店販売額は33,040百万円で、前年同月比0.5%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

業態別にみると、百貨店（前年同月比1.9%増）が3か月ぶり、スーパー（同0.1%増）が5か月ぶりにいずれも前年実績を上回ったことから、総合でも5か月ぶりに前年実績を上回った。

商品別では、衣料品（前年同月比1.3%減）、家庭用品（同3.6%減）がいずれも5か月連続で前年実績を下回ったものの、身の回り品（同2.8%増）が2か月連続、飲食料品（同0.7%増）が3か月ぶりに前年実績を上回った。

なお、店舗数調整前の前年同月比は0.3%増となり、5か月ぶりに前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	31,351	33,979	34,265	42,002	36,340	30,575	33,793	33,040
前年同月比(%)	▲3.5	▲1.0	2.5	▲0.9	▲0.3	▲3.1	▲0.9	0.5
うち百貨店(%)	▲5.2	▲2.8	▲0.7	▲0.7	0.1	▲3.9	▲0.5	1.9
スーパー(%)	▲3.1	▲0.5	3.4	▲0.9	▲0.4	▲2.9	▲1.0	0.1
(参考1)全国前年同月比(%)	▲3.2	▲1.0	▲0.3	▲1.3	▲1.1	▲2.7	▲0.8	1.1
うち百貨店(%)	▲5.0	▲4.0	▲2.7	▲2.0	▲1.2	▲1.8	▲0.7	1.0
スーパー(%)	▲2.3	0.6	1.1	▲0.9	▲1.1	▲3.1	▲0.9	1.1
(参考2)県前年同月比(店舗数調整前)	▲3.2	▲0.9	1.4	▲1.9	▲1.9	▲4.7	▲1.7	0.3

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<商品別前年同月比の推移>

(単位：%)

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲5.4	▲2.1	4.9	▲2.6	▲1.2	▲6.9	▲5.8	▲1.3
うち紳士服・洋品	▲4.5	0.5	9.9	1.6	2.9	▲7.0	▲13.6	▲7.1
婦人・子供服・洋品	▲5.3	▲2.5	3.0	▲3.9	▲2.5	▲6.8	▲3.9	1.1
身の回り品	▲10.9	▲6.8	▲0.9	0.1	0.2	▲5.4	0.8	2.8
飲食料品	▲2.3	0.1	2.8	0.2	0.1	▲2.2	▲1.0	0.7
家庭用品	▲6.0	▲6.8	2.8	▲5.0	▲4.3	▲6.7	▲7.1	▲3.6
うち家庭用電気機械器具	▲4.7	9.6	4.5	▲7.4	▲6.0	▲8.6	▲20.2	▲12.3

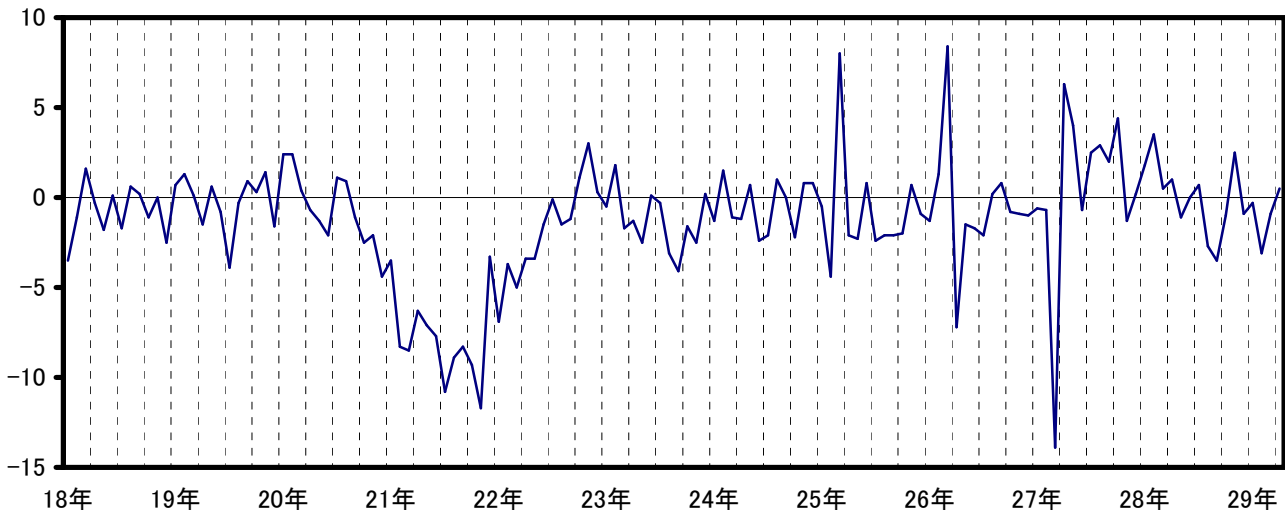
(注)店舗数調整済、全月速報値

<資料>経済産業省

<過去10年間の推移>

大型小売店販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(2) 百貨店販売額

4月 = 5,838百万円

*前年同月比： 2.0%増

(県内3百貨店販売額)

<概況>

4月の県内3百貨店の販売額は5,838百万円で、前年同月比 2.0%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

品目別にみると、家庭用品（前年同月比 1.5%減）が4か月連続、食料品（同 2.4%減）が2か月ぶりに前年実績を下回ったものの、衣料品（同 1.5%増）が18か月ぶり、身の回り品（同 4.4%増）が2か月連続、雑貨（同 10.3%増）が5か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
販売額（百万円）	5,074	6,194	6,522	8,966	6,985	5,327	6,798	5,838
前年同月比（%）	▲ 5.3	▲ 2.7	▲ 0.6	▲ 0.7	0.2	▲ 3.8	▲ 0.4	2.0
(参考)全国前年同月比（%）	▲ 5.0	▲ 3.9	▲ 2.4	▲ 1.7	▲ 1.2	▲ 1.7	▲ 0.9	0.7

(注)販売額は店舗数未調整、前年同月比は店舗数調整済

<資料>県百貨店協会、日本百貨店協会

<品目別前年同月比の推移>

(単位：%)

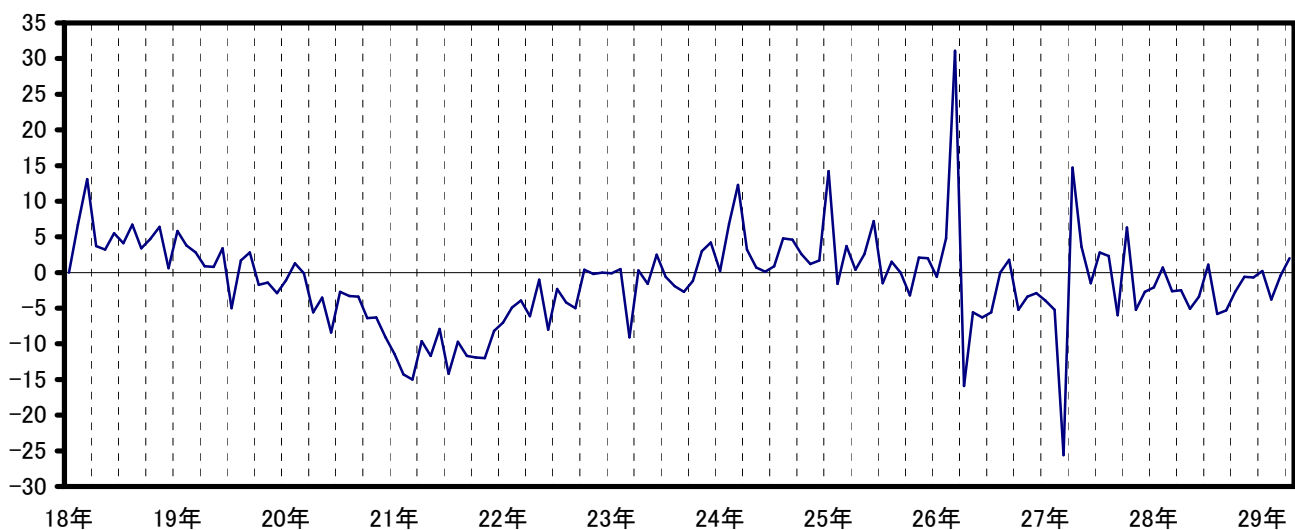
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
衣料品	▲ 8.4	▲ 5.2	▲ 2.2	▲ 3.8	▲ 2.5	▲ 7.3	▲ 6.8	1.5
うち紳士服・洋品	▲ 9.7	▲ 6.3	▲ 4.0	▲ 5.5	▲ 2.4	▲ 5.3	▲ 14.6	0.4
婦人服・洋品	▲ 7.8	▲ 4.3	▲ 1.5	▲ 3.3	▲ 2.0	▲ 8.3	▲ 5.5	1.8
子供服・洋品	▲ 18.3	▲ 7.1	▲ 4.2	▲ 4.7	▲ 7.3	▲ 3.5	▲ 7.7	▲ 0.2
身の回り品	▲ 4.6	▲ 1.8	4.3	5.9	6.3	▲ 2.1	3.0	4.4
家庭用品	▲ 2.1	▲ 17.1	2.6	0.8	▲ 6.5	▲ 7.5	▲ 8.7	▲ 1.5
食料品	▲ 4.9	▲ 1.6	0.5	▲ 0.3	▲ 4.8	▲ 3.0	0.4	▲ 2.4
雑貨	0.3	8.4	▲ 0.7	1.6	13.2	2.8	14.8	10.3
うち美術・宝飾・貴金属	▲ 16.0	4.9	▲ 6.9	▲ 18.0	24.1	▲ 9.3	13.6	11.7

(注)店舗数調整済

<過去10年間の推移>

県内百貨店販売額前年同月比（%）

<資料>県百貨店協会



(3) 専門量販店等販売額

4月 = 64,824百万円

*前年同月比： 4.0%増

(県内92家電大型専門店、1,765コンビニエンスストア、457ドラッグストア、102ホームセンター合計)

<概況>

4月の専門量販店等販売額は64,824百万円で、前年同月比 4.0%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業態別にみると、ホームセンター（前年同月比 0.2%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、家電大型専門店（同 6.0%増）、ドラッグストア（同 7.0%増）がいずれも2か月連続、コンビニエンスストア（同 2.9%増）が10か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
販売額(百万円)	61,540	64,309	62,796	73,732	63,347	57,543	67,348	64,824
前年同月比(%)	2.2	2.7	2.4	2.0	2.7	▲0.1	3.2	4.0
うち 家電大型専門店(%)	2.5	4.3	▲0.7	▲1.9	▲2.0	▲0.4	2.1	6.0
コンビニエンスストア(%)	3.2	3.7	3.2	3.8	3.5	0.7	3.4	2.9
ドラッグストア(%)	3.1	2.0	2.6	4.6	4.4	0.0	5.3	7.0
ホームセンター(%)	▲3.8	▲0.2	1.7	▲3.8	2.0	▲2.9	▲0.8	▲0.2
(参考)全国前年同月比(%)	2.6	3.6	2.6	2.3	2.7	0.4	3.1	3.9

(注1) 販売額、前年同月比は店舗数未調整

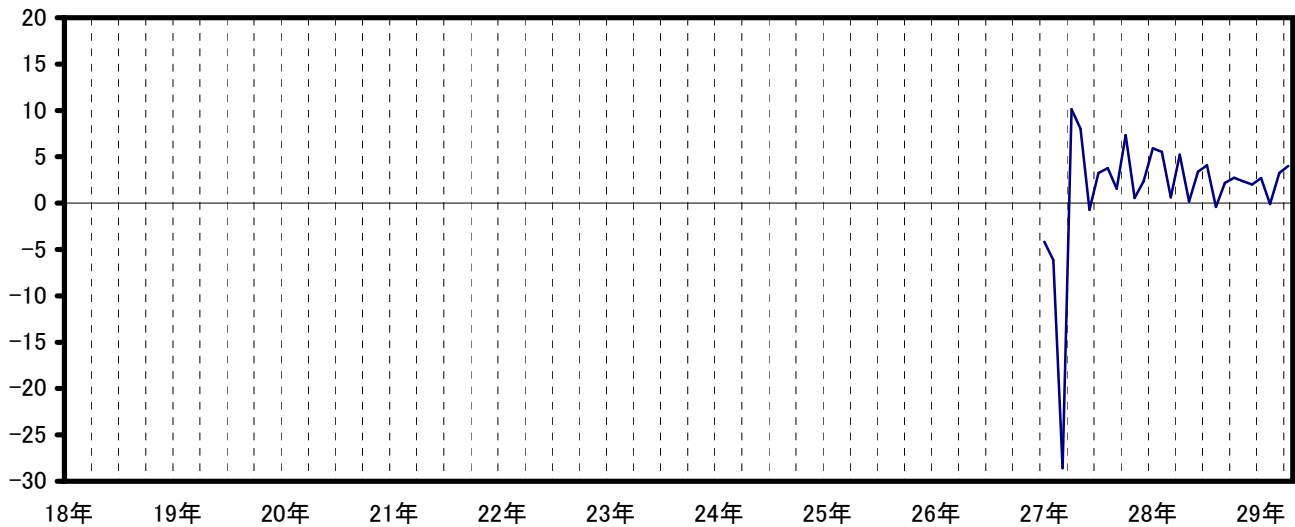
<資料>経済産業省

(注2) 平成28年7月からコンビニエンスストアの販売額を追加

<過去10年間の推移>

専門量販店等販売額前年同月比(%)

<資料>経済産業省



(4) 自動車(新車)新規登録台数

4月 = 11,763台

*前年同月比：12.8%増

(乗用車、軽自動車合計)

<概況>

4月の自動車(新車)新規登録台数は11,763台(前年同月比12.8%増)となり、6か月連続で前年実績を上回った。

車種別にみると、乗用車(前年同月比7.9%増)が9か月連続、軽自動車(同19.5%増)が2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
登録台数(台)	16,342	12,513	13,638	13,544	14,916	17,905	24,398	11,763
前年同月比(%)	2.8	▲2.8	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8
(参考)全国前年同月比(%)	▲0.7	▲0.1	8.8	8.1	4.4	8.2	9.6	10.4

<資料>県税務課、日本自動車販売協会連合会

<車種別(新車)新規登録台数前年同月比の推移>

(単位：%)

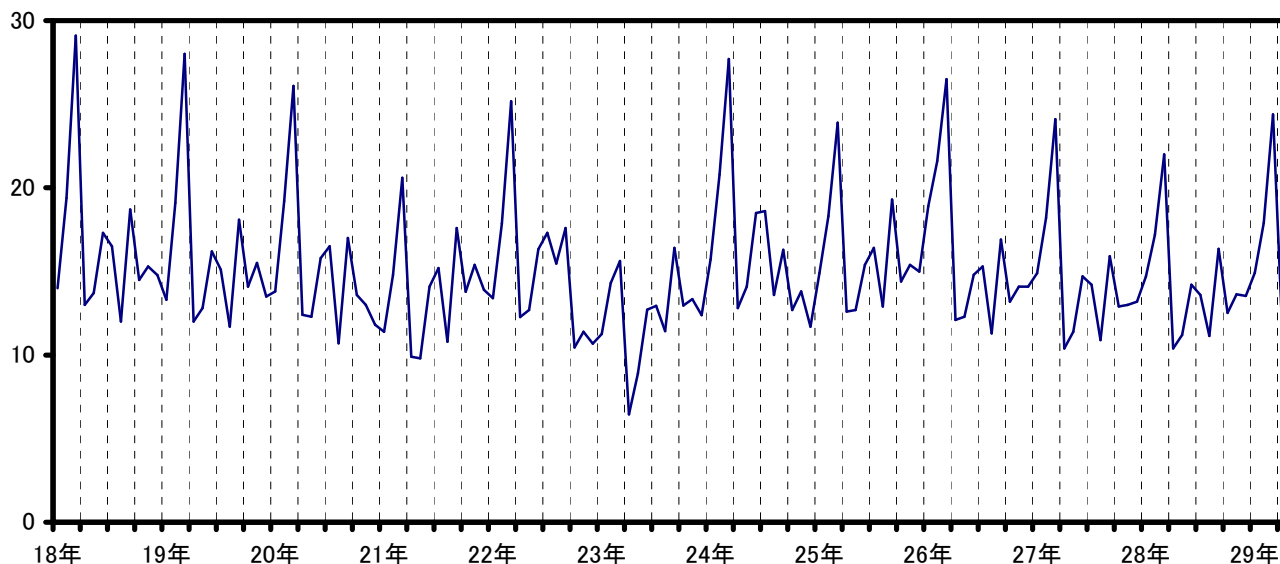
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
全乗用車	2.8	▲2.8	4.6	2.7	1.1	4.0	10.7	12.8
乗用車	3.8	0.2	11.7	8.7	9.9	10.5	17.5	7.9
軽自動車	1.7	▲6.6	▲3.8	▲4.8	▲9.1	▲3.3	2.3	19.5

<資料>県税務課

<過去10年間の推移>

自動車(新車)新規登録台数(千台)

<資料>県税務課



(注)全国前年同月比は乗用車+軽乗用車

2 新設住宅着工戸数

4月 = 1,883戸

*前年同月比：10.2%減

<概況>

4月の新設住宅着工戸数は1,883戸で、前年同月比10.2%減となり、2か月連続で前年実績を下回った。

利用関係別にみると、持家（前年同月比3.4%増）が2か月ぶりに前年実績を上回ったものの、貸家（同15.6%減）が4か月連続、分譲住宅（同32.8%減）が2か月ぶりに前年実績を下回った。

<最近の動き>

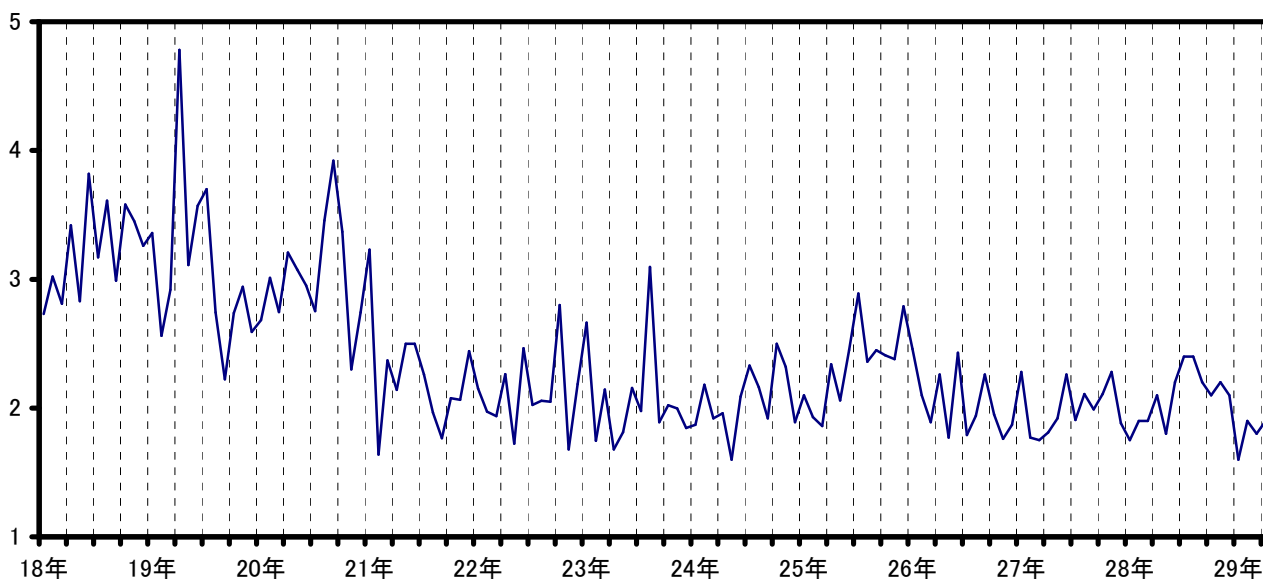
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
戸数（戸）	2,179	2,084	2,213	2,073	1,645	1,931	1,806	1,883
前年同月比（%）	9.7	▲1.4	▲2.9	10.1	▲6.2	1.9	▲4.2	▲10.2
うち持家（%）	6.0	▲3.9	▲14.5	7.3	▲2.4	28.5	▲13.3	3.4
貸家（%）	63.3	▲14.4	19.4	28.0	▲24.7	▲5.7	▲27.6	▲15.6
分譲住宅（%）	▲43.9	48.3	▲3.6	▲1.3	32.0	▲38.9	94.0	▲32.8
（参考）全国前年同月比（%）	10.0	13.7	6.7	3.9	12.8	▲2.6	0.2	1.9

<資料>県住まいづくり課

<過去10年間の推移>

新設住宅着工戸数(千戸)

<資料>県住まいづくり課



3 公共工事請負金額

4月 = 55,088百万円

*前年同月比： 9.3%増

(建設保証会社保証実績)

<概況>

4月の公共工事の請負金額(工事場所ベース)は55,088百万円で、前年同月比9.3%増となり、5か月連続で前年実績を上回った。また、取扱い件数(工事場所ベース)は495件で、前年同月比3.6%増となり、3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
金額(百万円)	50,377	19,292	14,204	16,623	10,454	12,463	16,089	55,088
前年同月比(%)	47.9	▲40.0	▲10.0	8.2	16.6	91.7	7.2	9.3
年度累計前年同月比(%)	13.1	4.9	3.9	4.2	4.6	6.8	6.9	9.3
件数(件)	1,445	657	657	772	434	321	235	495
前年同月比(%)	27.4	▲30.1	▲11.7	▲4.1	▲1.6	101.9	40.7	3.6
年度累計前年同月比(%)	10.5	3.1	1.2	0.6	0.4	2.7	3.5	3.6

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<発注者別請負金額前年同月比の推移>

(単位：%)

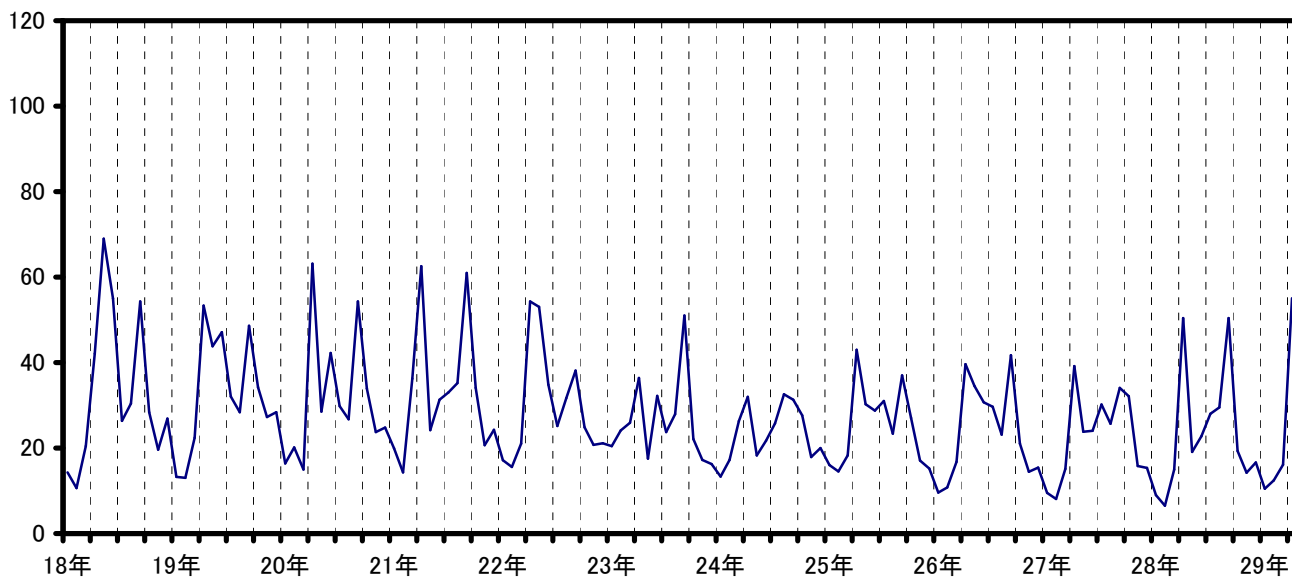
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
国	162.8	▲55.6	▲35.0	54.0	110.8	34.6	▲0.7	▲38.2
独立行政法人等	578.0	▲37.1	291.0	649.2	72.5	17.1	▲92.2	208.8
県	20.0	1.9	5.5	▲24.0	19.1	519.7	184.2	30.6
市町	41.9	▲42.0	▲20.6	12.7	▲23.0	7.3	7.9	▲17.8
地方公社	▲43.5	292.5	▲62.4	8.7	—	—	—	123.4
その他	▲63.5	▲93.3	▲10.3	▲0.3	197.5	▲21.3	50.9	▲74.8

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店

<過去10年間の推移>

公共工事請負金額(十億円)

<資料>東日本建設業保証(株)静岡支店



4 設備投資

<概況>

平成28年度の設備投資（含む土地投資）、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、いずれも製造業で増加、非製造業で減少し、全産業では増加の計画となっている。

平成29年度の設備投資（含む土地投資）は、製造業(前年度比 12.6%増)で増加、非製造業(同 4.0%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。また、ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）は、製造業(前年度比 7.2%増)で増加、非製造業(同 0.4%減)で減少し、全産業(同 5.3%増)では増加の計画となっている。

4月の着工建築物床面積（非居住用）は149,936㎡で、前年同月比 66.6%増となり、3か月ぶりに前年実績を上回った。

<企業短期経済観測調査結果>（前年度比% 設備投資（含む土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	(▲2.9) 2.2	5.3
	全国	(▲1.4) 0.4	▲1.3
製造業	県	(▲3.0) 5.9	12.6
	全国	(▲3.3) 2.1	4.4
非製造業	県	(▲2.8) ▲2.2	▲4.0
	全国	(▲0.4) ▲0.5	▲4.4

（ ）内は前回調査比修正率 ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）

		28年度 (計画)	29年度 (計画)
全産業	県	1.6	5.3
	全国	(▲1.5) 1.1	1.5
製造業	県	2.8	7.2
	全国	(▲1.5) 1.5	3.7
非製造業	県	▲1.6	▲0.4
	全国	(▲1.5) 0.7	▲0.7

(注1) 平成29年3月調査分から半期計数の掲載を取り止め、年度計数のみを掲載

(注2) 平成29年3月調査分から「ソフトウェア・研究開発を含む設備投資（除く土地投資）」を追加

<資料>日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

日本銀行調査統計局「全国企業短期経済観測調査」(平成29年3月調査)」

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
着工建築物床面積（非居住用）（㎡）	171,169	77,988	142,379	107,916	154,653	82,466	89,233	149,936
前年同月比（%）	35.1	▲45.6	29.2	24.3	7.6	▲0.6	▲42.2	66.6
(参考) 全国前年同月比（%）	10.8	▲3.7	10.4	5.4	21.9	8.1	▲12.5	19.3

(注3) 着工建築物床面積は公共と民間の合計のうち、非居住用

<資料>国土交通省

<参考 県内企業の業況判断D. I. >

	28年12月	29年3月	29年6月 (予測)
全産業	8	12	0
製造業	7	13	2
非製造業	10	12	▲2
(参考) 全国・全産業	7	10	4

(注4) 業況判断D. I. : 「良い」-「悪い」回答社数構成比%ポイント

<資料> 日本銀行静岡支店「静岡県の企業短期経済観測調査結果(平成29年3月調査)」

5 輸出

4月 = 191,458百万円

*前年同月比： 14.6%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸出総額は191,458百万円で、前年同月比 14.6%増となり、6か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、エアコン（前年同月比 5.9%減）が4か月ぶりに前年実績を下回ったものの、原動機（同 5.1%増）が4か月ぶり、自動車（同 139.7%増）が6か月連続、自動車の部分品（同 10.0%増）が8か月連続、二輪自動車類（同 26.9%増）が4か月連続、科学光学機器（同 4.8%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別にみると、アジア向け（前年同月比 14.2%増）が6か月連続、米国向け（同 0.2%増）が4か月ぶり、EU向け（同 40.5%増）が4か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
輸出総額(百万円)	164,290	157,565	163,368	188,982	149,185	182,936	197,411	191,458
前年同月比(%)	▲ 3.0	▲ 8.6	5.9	5.3	3.9	8.3	10.1	14.6

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
原動機	▲ 5.5	▲ 11.6	11.8	6.1	▲ 8.5	▲ 9.3	▲ 2.5	5.1
エアコン	▲ 11.9	▲ 11.1	▲ 3.4	▲ 12.1	4.3	6.8	15.8	▲ 5.9
自動車	87.9	▲ 17.1	26.8	65.0	66.5	196.7	135.7	139.7
自動車の部分品	11.2	1.3	15.4	10.2	12.0	10.0	0.9	10.0
二輪自動車類	▲ 29.3	▲ 3.3	16.5	▲ 0.8	3.0	6.2	5.0	26.9
科学光学機器	▲ 10.4	▲ 14.6	▲ 5.6	6.7	▲ 6.6	16.1	▲ 14.2	4.8

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
アジア	4.7	▲ 5.6	11.2	10.2	7.8	15.1	16.5	14.2
米国	▲ 7.0	▲ 6.4	▲ 7.3	13.3	▲ 8.4	▲ 14.6	▲ 0.1	0.2
EU	0.3	0.1	32.2	0.0	24.9	49.9	19.6	40.5

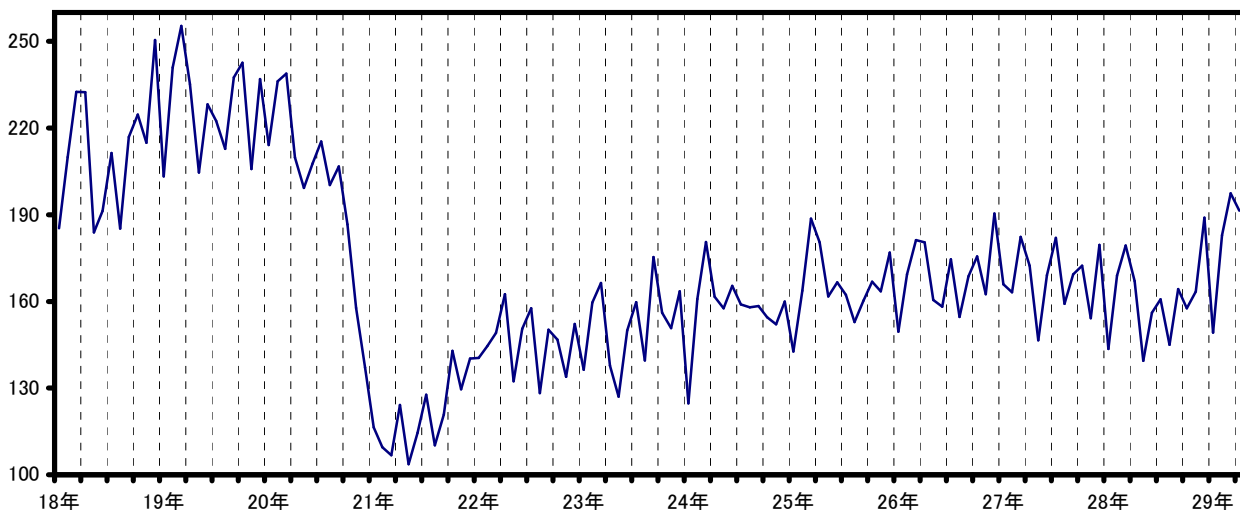
<資料>清水税関支署

(注) 管内とは、清水港(焼津、沼津、浜松、興津の各出張所及び下田監視所含む)、田子の浦港、御前崎港、静岡空港の4つをいう。
なお、数値は、通関手続きが行われた金額である。輸入も同様。

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸出額(十億円)

<資料>清水税関支署



6 輸入

4 月 = 78,691百万円

*前年同月比： 11.3%増

(清水税関支署管内通関実績)

<概況>

4月の清水税関支署管内の輸入総額は78,691百万円で、前年同月比 11.3%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

主要な品目別にみると、紙類及び同製品（前年同月比 1.3%減）が4か月連続で前年実績を下回ったものの、魚介類（同 8.6%増）、パルプ（同 21.3%増）がいずれも3か月連続、木材（同 9.7%増）、自動車の部分品（同 19.0%増）がいずれも2か月連続、原動機（同 85.0%増）が2か月ぶりに前年実績を上回った。

地域別では、アジアから（前年同月比 4.0%増）が2か月連続、米国から（同 18.3%増）が2か月ぶり、EUから（同 35.7%増）が3か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
輸入総額(百万円)	73,501	70,647	81,755	77,184	84,538	71,963	90,661	78,691
前年同月比(%)	▲ 9.8	▲ 16.9	0.2	▲ 1.5	▲ 2.5	▲ 5.7	16.7	11.3

<資料>清水税関支署

<主要品目別前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
魚介類	—	—	—	—	▲ 4.9	3.7	20.2	8.6
木材	▲ 7.5	▲ 13.1	▲ 30.0	▲ 16.0	▲ 9.5	▲ 11.3	20.6	9.7
パルプ	▲ 13.3	▲ 27.8	▲ 46.8	▲ 6.7	▲ 11.1	5.6	28.8	21.3
紙類及び同製品	30.2	▲ 6.7	2.6	23.2	▲ 3.0	▲ 32.2	▲ 20.3	▲ 1.3
原動機	13.1	▲ 6.4	15.8	76.1	58.1	180.2	▲ 29.5	85.0
自動車の部分品	▲ 1.7	▲ 28.5	13.5	▲ 7.9	▲ 29.1	▲ 8.6	23.7	19.0

<資料>清水税関支署

<地域別前年同月比の推移>

(単位:%)

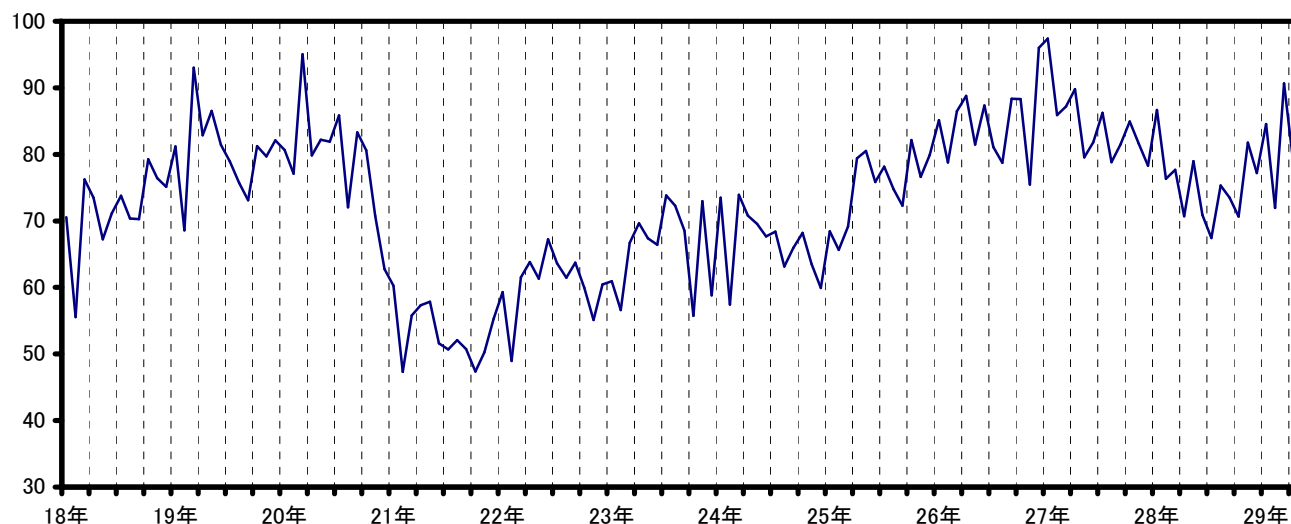
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
アジア	▲ 8.7	▲ 19.6	▲ 5.9	4.4	▲ 0.3	▲ 14.5	13.4	4.0
米国	▲ 22.6	▲ 16.6	▲ 28.2	17.5	▲ 17.1	11.5	▲ 19.8	18.3
EU	▲ 31.7	▲ 1.7	6.1	▲ 10.4	▲ 12.6	38.5	9.7	35.7

<資料>清水税関支署

<過去10年間の推移>

清水税関支署管内通関実績輸入額(十億円)

<資料>清水税関支署



生産面

1 生産

(1) 鉱工業生産指数

3月 = 93.9

(平成22年=100、鉱工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.4%減

*前年同月比(原指数) : 5.1%増

<概況>

3月の鉱工業生産指数(総合)は93.9(季節調整済指数)で、前月比0.4%減となり、5か月にぶりに低下した。また、前年同月比(原指数)は5.1%増と3か月連続で前年を上回った。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比7.2%減)が3か月連続、化学(同14.2%減)が6か月連続、パルプ・紙・紙加工品(同0.4%減)、食料品・たばこ(同13.9%減)がいずれも7か月連続で前年水準を下回ったものの、電気機械(同3.4%増)が5か月連続、輸送機械(同38.4%増)が4か月連続で前年水準を上回った。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
指数	90.0	89.7	86.9	89.3	92.5	92.6	94.3	93.9
前月比(%)	1.9	▲0.3	▲3.1	2.8	3.6	0.1	1.8	▲0.4
前年同月比(%)	4.5	▲1.2	▲5.8	▲0.9	▲4.4	3.4	4.3	5.1
(参考)全国前年同月比(%)	4.6	0.9	▲1.3	4.6	3.0	3.2	4.8	3.3

(注)平成22年=100、鉱工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鉱工業生産指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	11.5	▲4.1	▲12.5	▲5.9	3.1	▲2.4	▲1.8	▲7.2
電気機械工業	15.9	2.2	▲9.6	3.2	7.0	9.7	11.4	3.4
輸送機械工業	▲4.0	▲7.3	▲9.5	▲0.3	3.7	12.7	21.8	38.4
化学工業	8.7	6.4	▲1.8	▲4.6	▲31.2	▲5.3	▲8.0	▲14.2
パルプ・紙・紙加工品工業	6.7	▲3.0	▲1.0	▲3.7	▲3.0	▲1.8	▲2.4	▲0.4
食料品・たばこ工業	1.3	▲1.2	▲5.2	▲3.8	▲10.2	▲6.2	▲10.9	▲13.9

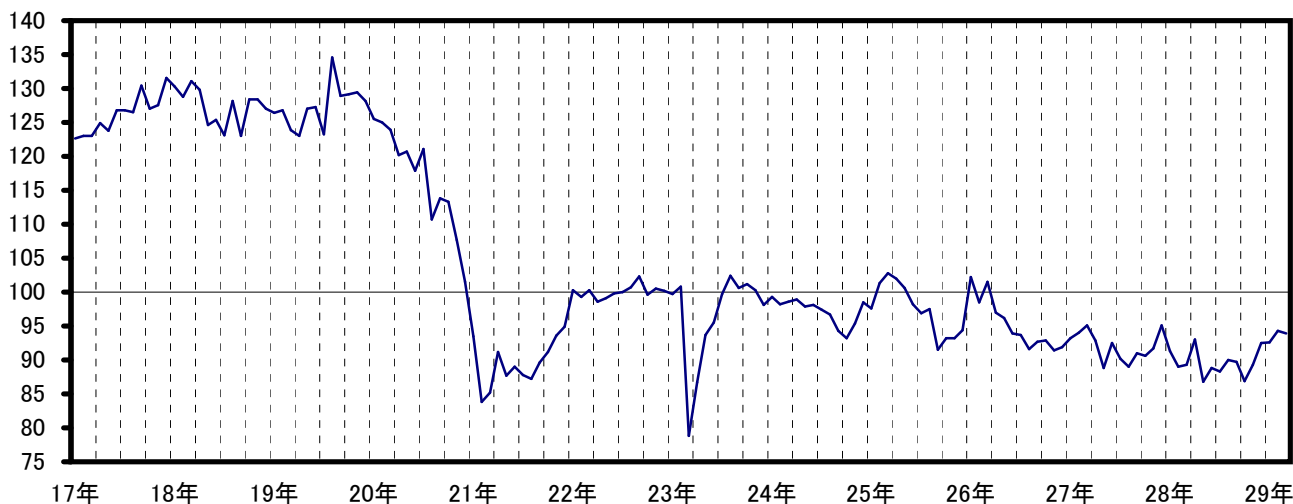
(注)平成22年=100、鉱工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鉱工業生産指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



(2) 鋳工業在庫指数

3月 = 123.1

(平成22年=100、鋳工業総合、季節調整済指数)

*前月比(季節調整済指数) : 0.3%増

*前年同月比(原指数) : 2.2%減

<概況>

3月の鋳工業在庫指数(総合)は123.1(季節調整済指数)で、前月比は0.3%増と3か月連続で上昇した。また、前年同月比(原指数)は2.2%減と7か月連続で前年を下回った。

なお、在庫動向を在庫循環図でみると、今月は「在庫積み増し局面(景気拡大期)」に該当する。

業種別にみると、はん用・生産用・業務用機械(前年同月比15.5%増)が12か月連続、輸送機械(同7.2%増)が12か月ぶりに前年水準を上回ったものの、電気機械(同17.5%減)、化学(同9.8%減)がいずれも7か月連続、食料品・たばこ(同0.6%減)が3か月ぶりに前年水準を下回った。パルプ・紙・紙加工品は前年と同水準だった。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
指数	119.3	115.7	114.7	112.8	109.2	114.0	122.7	123.1
前月比(%)	▲0.2	▲3.0	▲0.9	▲1.7	▲3.2	4.4	7.6	0.3
前年同月比(%)	2.1	▲2.0	▲4.8	▲7.3	▲11.3	▲6.2	▲1.9	▲2.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲1.8	▲2.0	▲3.0	▲4.8	▲5.0	▲4.3	▲3.3	▲3.9

(注)平成22年=100、鋳工業総合、指数:季節調整済、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課、経済産業省

<県内業種別鋳工業在庫指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
はん用・生産用・業務用機械工業	0.8	6.6	7.1	13.0	18.7	15.9	9.1	15.5
電気機械工業	21.3	▲8.5	▲16.5	▲20.8	▲18.2	▲18.0	▲15.4	▲17.5
輸送機械工業	▲19.6	▲34.2	▲42.2	▲46.9	▲51.6	▲30.8	▲12.4	7.2
化学工業	0.1	▲1.6	▲3.5	▲4.2	▲12.6	▲8.9	▲3.3	▲9.8
パルプ・紙・紙加工品工業	1.5	0.0	7.2	0.5	▲1.4	▲2.7	▲0.4	0.0
食料品・たばこ工業	▲9.0	0.4	▲3.5	▲7.2	▲7.3	2.1	4.2	▲0.6

(注)平成22年=100、鋳工業総合、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

鋳工業在庫指数(総合、平成22年=100)

<資料>県統計調査課



雇 用 面

1 雇 用

(1) 有効求人倍率

4 月 = 1.51倍

*前月比（季節調整値）： 0.04ポイント増

（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）

<概 況>

4月の有効求人倍率（季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む）は1.51倍となり、前月を0.04ポイント上回った。また、2か月連続で全国値を上回った。新規求人（学卒、パートタイムを除く）（前年同月比8.3%増）は15か月連続で前年実績を上回った。

産業別にみると、卸売業・小売業（前年同月比3.5%減）が3か月連続で前年実績を下回ったものの、建設業（同10.5%増）が15か月連続、製造業（同7.4%増）が18か月連続、情報通信業（同4.5%増）が2か月連続、運輸業・郵便業（同15.9%増）が6か月連続、医療・福祉（同1.8%増）が8か月連続、サービス業（他に分類されないもの）（同16.5%増）が14か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

（単位：倍）

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
県	1.37	1.38	1.40	1.41	1.43	1.42	1.47	1.51
全 国	1.38	1.40	1.41	1.43	1.43	1.43	1.45	1.48

（注）季節調整値、学卒を除き、パートタイムを含む

<資料>厚生労働省

<産業別新規求人前年同月比の推移>

（単位：%）

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
建 設 業	8.7	1.9	14.3	5.6	13.5	15.7	11.4	10.5
製 造 業	27.5	20.9	15.7	16.5	12.0	12.0	14.9	7.4
情 報 通 信 業	▲ 28.7	▲ 39.2	▲ 13.2	2.2	▲ 19.8	▲ 12.7	9.4	4.5
運 輸 業 ・ 郵 便 業	2.4	▲ 3.7	18.8	1.0	17.1	16.8	2.3	15.9
卸 売 業 ・ 小 売 業	▲ 10.9	19.0	2.6	▲ 5.0	4.9	▲ 2.7	▲ 9.6	▲ 3.5
医 療 ・ 福 祉	1.6	13.5	10.2	7.2	9.4	5.1	10.9	1.8
サービス業（他に分類されないもの）	2.2	12.9	62.7	21.6	15.9	32.9	14.3	16.5
合 計	4.2	7.9	16.4	9.0	10.3	9.2	6.6	8.3

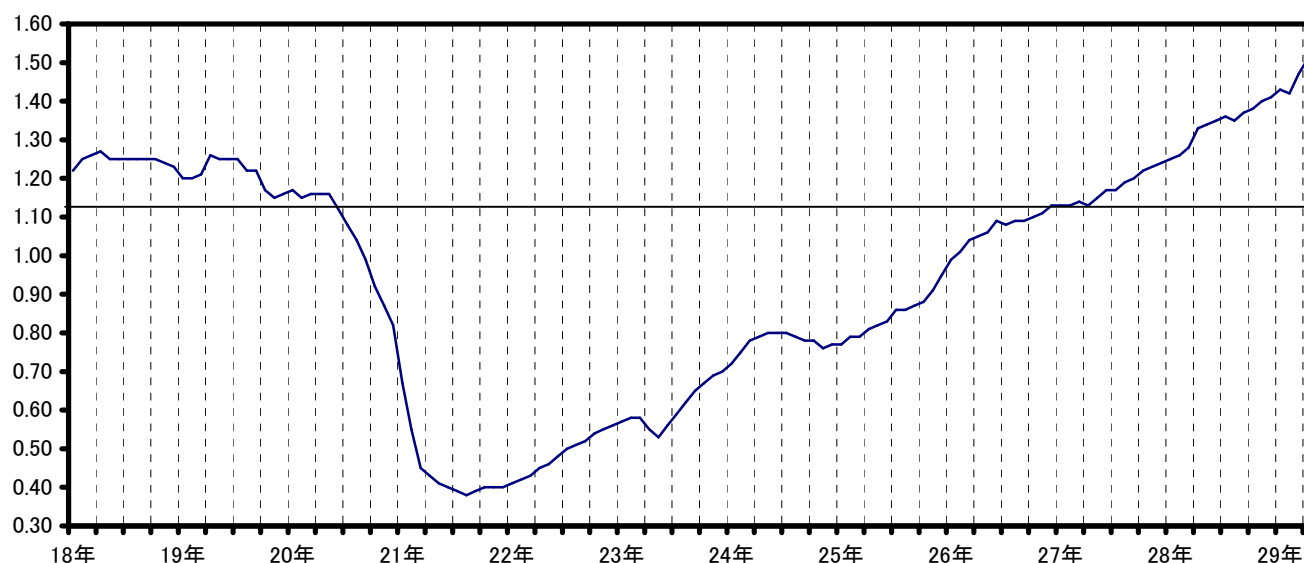
（注）学卒、パートタイムを除く

<資料>厚生労働省

<過去10年間の推移>

有効求人倍率（学卒を除き、パートタイムを含む）（倍）

<資料>厚生労働省



(2) 雇用保険受給者実人員

4月 = 9,531人

*前月比: 5.0%減

*前年同月比: 14.2%減

<概況>

4月の雇用保険受給者実人員は9,531人で、前月比は5.0%減と8か月連続で前月を下回った。
 また、前年同月比は14.2%減と45か月連続で前年実績を下回った。
 完全失業率(全国)は2.8%で、前月と同水準だった。
 静岡県(平成29年1~3月)の完全失業率は2.3%で、前期(28年10~12月)から0.1ポイント改善した。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
実人員(人)	12,696	12,170	11,593	10,924	10,725	10,163	10,036	9,531
前月比(%)	▲4.6	▲4.1	▲4.7	▲5.8	▲1.8	▲5.2	▲1.2	▲5.0
前年同月比(%)	▲12.7	▲11.5	▲10.8	▲11.3	▲14.4	▲15.6	▲14.0	▲14.2
(参考)全国前年同月比(%)	▲8.0	▲9.3	▲7.9	▲9.3	▲8.6	▲9.5	▲7.7	▲8.5

<資料>厚生労働省

<参考 完全失業率(全国)の推移>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
完全失業率(全国)(%)	3.0	3.0	3.1	3.1	3.0	2.8	2.8	2.8

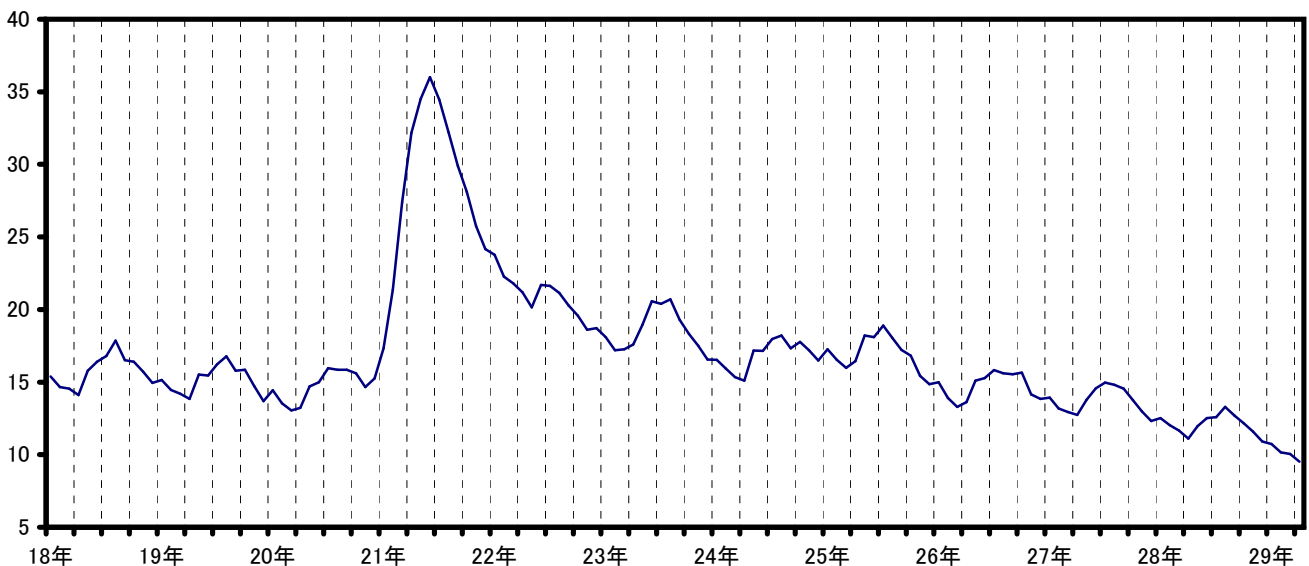
(注)季節調整値

<資料>総務省統計局

<過去10年間の推移>

雇用保険受給者実人員(千人)

<資料>厚生労働省



(3) 所定外労働時間指数

3月 = 102.0

*前月比(季節調整済指数): 1.2%減

(平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、季節調整済) *前年同月比(原指数) : 2.1%増

<概況>

3月の所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、調査産業計)は102.0(季節調整済指数)で、前月比1.2%減となった。また、前年同月比(原指数)は2.1%増となり、2か月連続で前年実績を上回った。

業種別にみると、建設業(前年同月比10.6%減)が5か月連続、運輸業・郵便業(同1.6%減)が3か月ぶり、卸売業・小売業(同25.7%減)が9か月連続、医療・福祉(同8.0%減)が4か月ぶり、その他のサービス業(同10.5%減)が4か月連続で前年実績を下回ったものの、製造業(同13.2%増)、情報通信業(同1.2%増)がいずれも2か月連続で前年実績を上回った。

<最近の動き>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
指数	97.7	101.6	102.7	101.3	99.8	99.0	103.2	102.0
前月比(%)	▲5.2	4.0	1.1	▲1.4	▲1.5	▲0.8	4.2	▲1.2
前年同月比(%)	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1
(参考)全国前年同月比(%)	▲2.5	▲1.6	▲1.5	▲1.5	▲2.2	▲0.2	0.6	▲0.9

*平成27年=100、事業所規模30人以上、調査産業計、指数:季節調整済指数、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<県内業種別所定外労働時間指数前年同月比の推移>

(単位:%)

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月
建設業	▲9.7	0.0	15.4	▲5.1	▲14.7	▲19.4	▲14.4	▲10.6
製造業	▲1.1	0.0	▲4.5	▲5.9	2.6	▲0.2	4.8	13.2
情報通信業	1.3	▲13.6	▲10.9	▲8.4	▲6.1	▲1.1	0.1	1.2
運輸業・郵便業	▲2.1	3.2	▲5.3	▲6.9	▲6.5	5.1	1.7	▲1.6
卸売業・小売業	▲17.6	▲29.6	▲31.1	▲34.2	▲24.7	▲13.5	▲23.1	▲25.7
医療・福祉	▲4.4	9.1	▲7.2	▲23.5	7.0	3.4	14.4	▲8.0
その他のサービス業	13.2	▲7.2	5.3	11.8	▲6.3	▲27.9	▲23.6	▲10.5
調査産業計	▲0.8	1.4	0.7	▲1.4	▲0.7	▲1.4	0.7	2.1

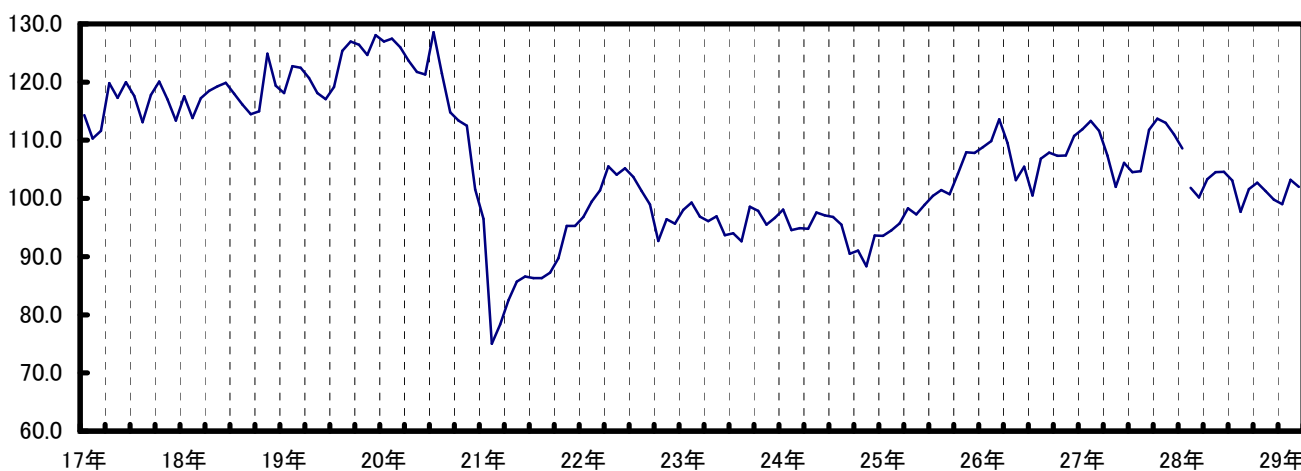
*平成27年=100、事業所規模30人以上、前年同月比:原指数

<資料>県統計調査課

<過去10年間の推移>

所定外労働時間指数(事業所規模30人以上、平成27年=100)

<資料>県統計調査課



そ の 他

1 物 価

国内企業物価指数

(平成27年=100)

5 月 = 98.4

*前 月 比: 同水準

*前年同月比: 2.1%上昇

<概 況>

5月の国内企業物価指数は98.4となり、前月と同水準だった。また、前年同月比は2.1%の上昇となった。

<最近の動き>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
国内企業物価指数	96.0	96.4	97.1	97.7	98.0	98.2	98.4	98.4
前 月 比 (%)	▲ 0.1	0.4	0.7	0.6	0.3	0.2	0.2	0.0
前年同月比 (%)	▲ 2.7	▲ 2.3	▲ 1.2	0.5	1.1	1.4	2.1	2.1

*平成27年=100

<資料>日本銀行

2 金 融

(1) 県内金融機関貸出残高

(銀行、信用金庫)

4 月 = 138,500億円

*前 月 比: 0.9%減

*前年同月比: 2.0%増

<概 況>

4月末の県内の銀行と信用金庫の貸出残高は138,500億円で、前月比は0.9%の減少となり、また、前年同月比は2.0%の増加となった。

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
貸出残高(億円)	137,793	136,468	137,258	139,099	137,805	137,857	139,752	138,500
前 月 比 (%)	1.3	▲ 1.0	0.6	1.3	▲ 0.9	0.0	1.4	▲ 0.9
前年同月比 (%)	2.2	2.1	2.4	1.3	1.3	1.6	1.2	2.0

<資料>日本銀行静岡支店

(2) 貸出約定金利

(県内地銀4行総平均)

4 月 = 2.133%

*前 月 差: 0.005ポイント増

*前年同月差: 0.023ポイント減

<概 況>

4月の県内地銀4行総平均の貸出約定金利(総合)は2.133%で、前月から0.005ポイントのプラスとなった。なお、前年同月差は0.023ポイントのマイナスとなった。

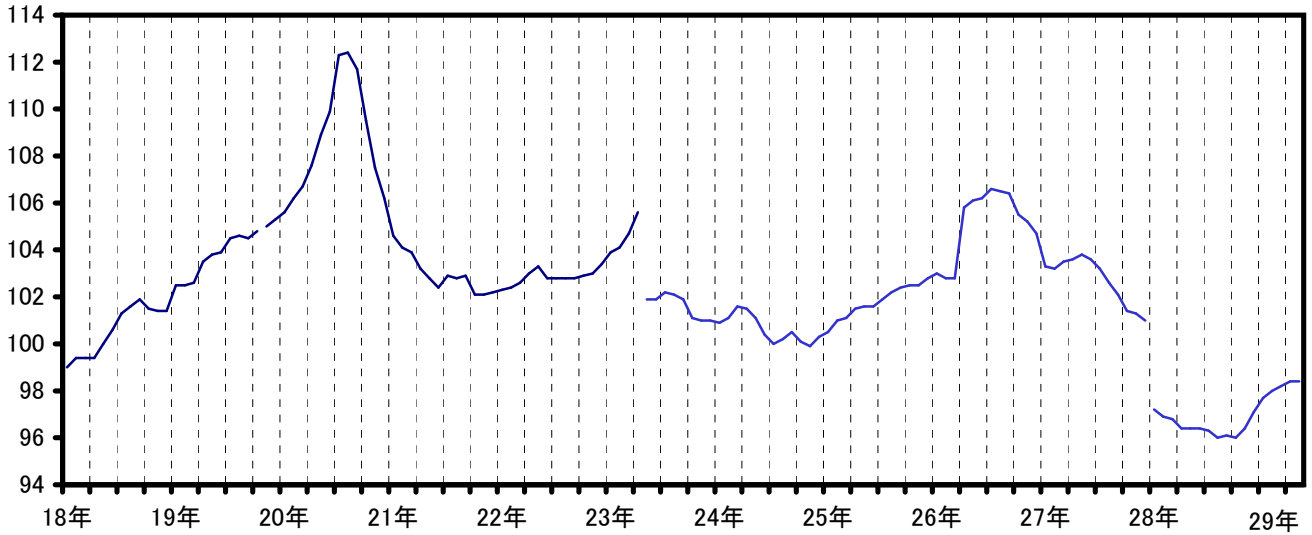
	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
貸出約定金利(%)	2.144	2.152	2.146	2.129	2.134	2.138	2.128	2.133
前月差(ポイント)	▲ 0.010	0.008	▲ 0.006	▲ 0.017	0.005	0.004	▲ 0.010	0.005
前年同月差(ポイント)	▲ 0.004	▲ 0.014	▲ 0.022	▲ 0.021	▲ 0.025	▲ 0.026	▲ 0.017	▲ 0.023

<資料>日本銀行静岡支店

＜過去10年間の推移＞

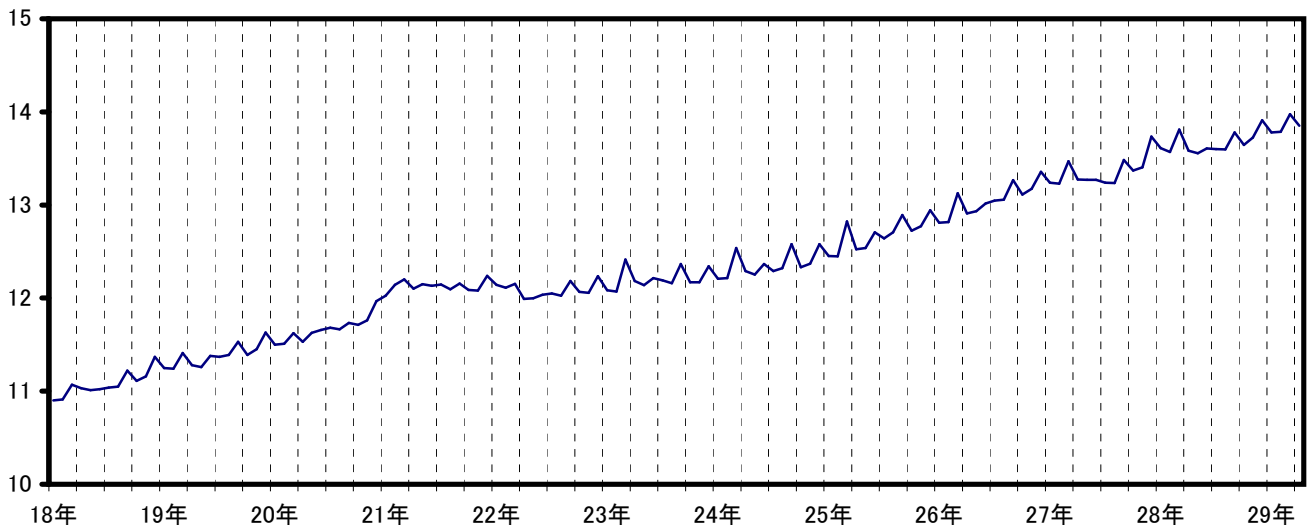
国内企業物価指数(平成27年=100)

＜資料＞日本銀行



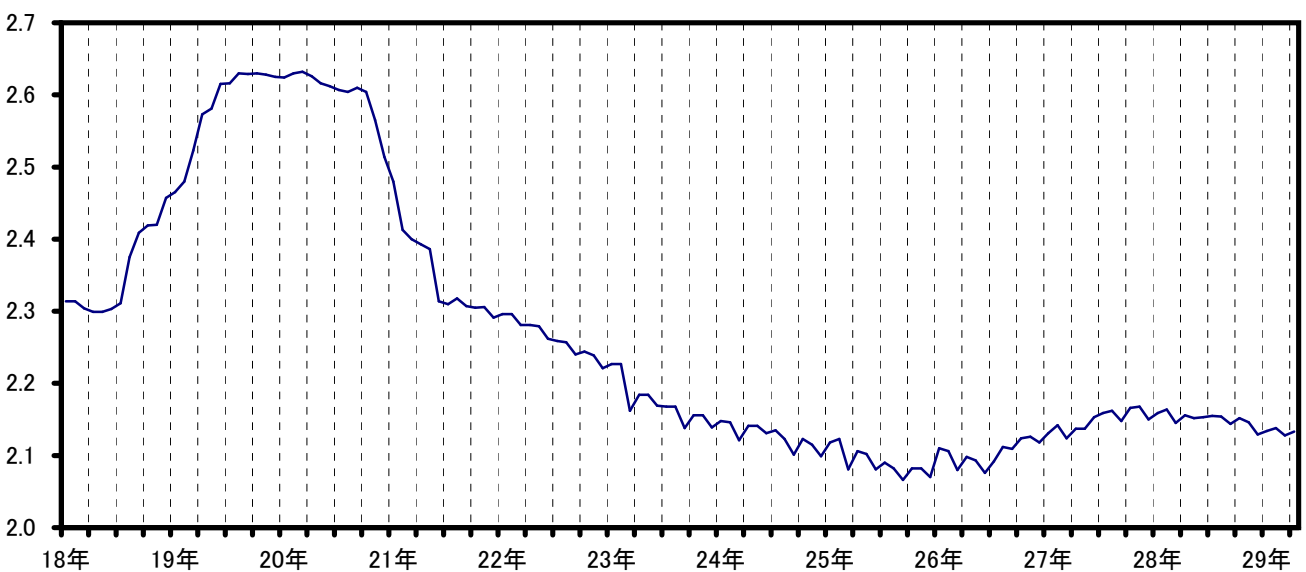
県内金融機関貸出残高(兆円)

＜資料＞日本銀行静岡支店



県内地銀平均貸出約定金利(%)

＜資料＞日本銀行静岡支店



(3) 信用保証協会保証金額**4月 = 11,692百万円**

*前年同月比： 17.7%減

<概況>

4月の保証承諾は、金額が11,692百万円（前年同月比 17.7%減）と2か月ぶりに前年実績を下回り、件数は1,380件（同 13.7%減）と25か月連続で前年実績を下回った。

<最近の動き>

	28年9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
保証金額（百万円）	23,295	17,045	19,296	24,335	14,049	18,177	26,040	11,692
前年同月比（%）	▲ 10.1	▲ 14.2	0.0	▲ 9.4	▲ 8.3	▲ 2.4	4.3	▲ 17.7
保証件数（件）	2,319	1,781	1,888	2,363	1,504	1,818	2,412	1,380
前年同月比（%）	▲ 12.0	▲ 16.9	▲ 6.3	▲ 10.7	▲ 11.2	▲ 10.4	▲ 8.0	▲ 13.7

<資料>県信用保証協会

(4) 円相場**5月 = 112.21円/ドル**

*前月差： 2.15円安

（東京・銀行間直物中心・平均）

*前年同月差： 3.06円安

<概況>

5月の東京外国為替市場での対ドル平均円相場（銀行間直物）は112.21円で、前月と比べて2.15円の円安となり、5か月ぶりの円安となった。

<最近の動き>

	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
平均相場（円）	103.82	108.18	115.95	114.73	113.06	113.01	110.06	112.21
前月差（円）	1.78	4.36	7.77	▲ 1.22	▲ 1.67	▲ 0.05	▲ 2.95	2.15
前年同月差（円）	▲ 16.24	▲ 14.36	▲ 5.89	▲ 3.52	▲ 1.96	▲ 0.06	0.18	3.06

▲…円高

（注）東京外国為替相場・銀行間直物中心相場・平均

3 企業経営**企業倒産件数****5月 = 18件**

*前年同月比： 48.5%減

<概況>

5月の負債総額 1,000万円以上の企業倒産件数は18件（前年同月比 48.5%減）、負債総額は2,338百万円（同 73.4%減）と、いずれも前年実績を下回った。

原因別にみると、販売不振を原因とするいわゆる「不況型倒産」が17件と全体の94.4%を占め、234か月連続して50%以上となっている。

<最近の動き>

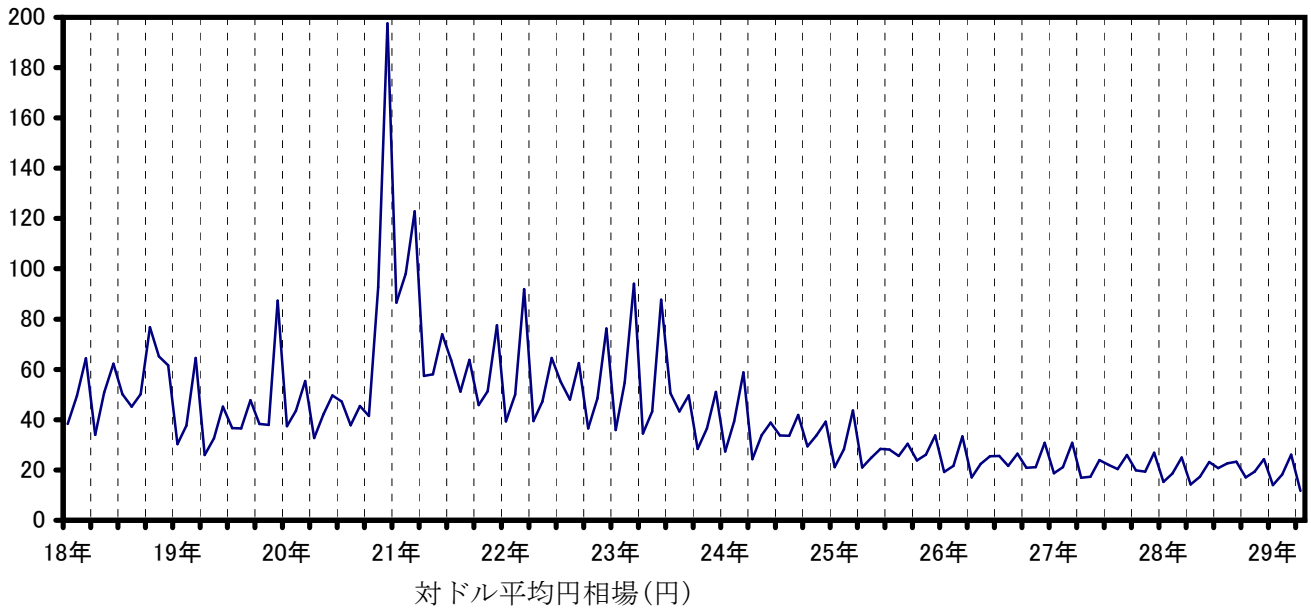
	28年10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月	5月
倒産件数（件）	13	19	35	16	18	31	23	18
前年同月比（%）	▲ 27.7	▲ 20.8	84.2	▲ 15.7	▲ 33.3	24.0	91.6	▲ 48.5
うち不況型倒産件数（件）	12	19	34	16	17	30	17	17
負債総額（百万円）	1,631	2,049	5,704	1,687	7,787	7,258	6,604	2,338
前年同月比（%）	▲ 54.5	▲ 61.8	60.7	▲ 46.1	164.0	150.3	287.5	▲ 73.4

<資料>（株）東京商工リサーチ静岡支社

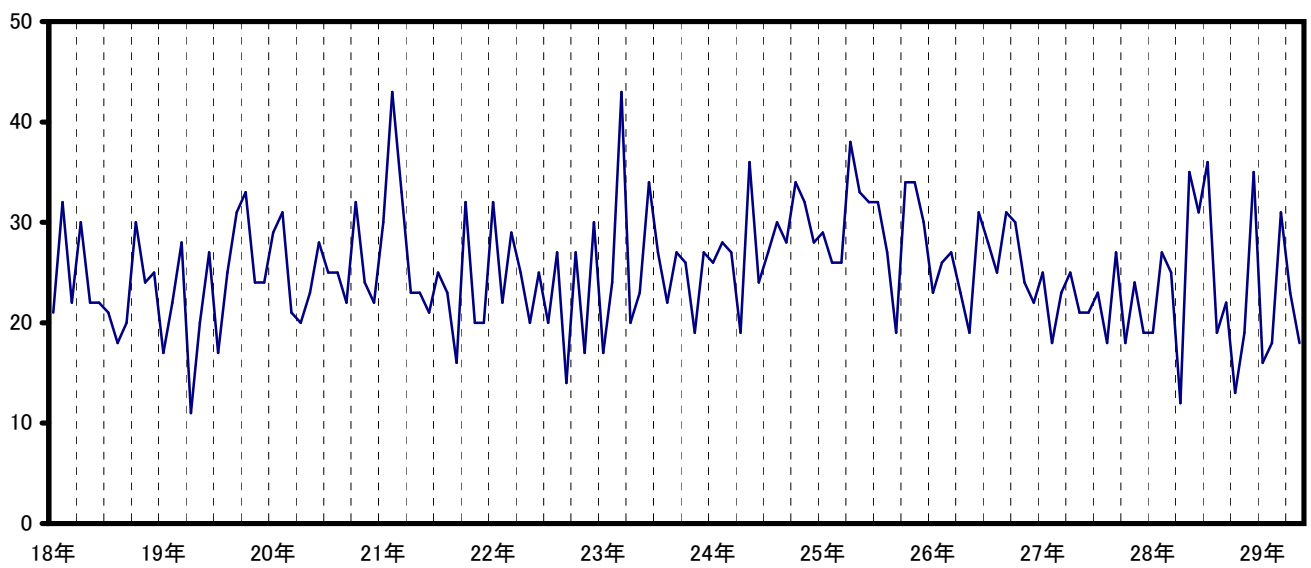
<過去10年間の推移>

信用保証協会保証承諾金額(十億円)

<資料>県信用保証協会



<資料>(株)東京商工リサーチ静岡支社



Ⅲ 平成29年4月を中心とした静岡県主要産業の動向

業 種	産 業 動 向
二 輪 車	<p>4月の国内二輪車生産台数は、54,705台（前年同月比 34.9%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。原付第一種（50cc以下）は、11,133台（同 79.5%増）と、8か月連続で前年実績を上回った。原付第二種（51cc～125cc）は、2,677台（同 22.0%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。軽二輪車（126cc～250cc）は、6,950台（同 119.6%増）と、2か月連続で前年実績を上回った。小型二輪車（251cc以上）は、33,945台（同 22.3%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>出荷台数は、国内向けは、32,098台（同 7.1%増）と、7か月連続で前年実績を上回った。輸出向けは、50,249台（同 37.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
自 動 車	<p>4月の自動車国内生産台数は、749,087台（前年同月比 16.3%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。また、輸出は371,827台（同 0.7%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>国内生産は、トラックが2か月ぶり、乗用車が6か月連続で前年実績を上回ったことから、全体でも6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本自動車工業会</p>
電気機械	<p>4月の冷蔵庫の国内出荷額は、302億7,100万円（前年同月比 5.2%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。国内出荷台数は、294千台（同 11.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>4月のエアコンの国内出荷台数は、家庭向けは482千台（同 14.8%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。業務用は55千台（同 4.5%増）と、2か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p>3月の携帯電話（移動電話）の国内出荷台数は、1,828千台（同 41.1%増）と、11か月ぶりに前年実績を上回った。うち、スマートフォンは、1,269千台（同 130.8%増）と、3か月連続で前年を上回った。単月のスマートフォン比率は69.4%であった。</p> <p>※公衆用PHSの国内出荷台数は秘匿となった。（平成28年12月～平成29年3月）</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本電機工業会、日本冷凍空調工業会、J E I T A / C I A J</p>
生産用機械	<p>4月の工作機械の受注総額は、1,337億100万円（前年同月比 34.7%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>内訳をみると、外需は832億4,200万円（同 38.1%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。アジア向けが461億9,100万円（同 101.2%増）と、5か月連続で前年実績を上回った。内需は504億5,900万円（同 29.5%増）と、3か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>県内中小企業からは、「一過性の感があるが、中国向けリチウムイオン電池の需要が拡大している」という声や「自動車関連設備を主体として堅調に推移しており、受注状況から秋口頃までは落ち着いた感があるが、その先は不透明」という声が聞かれた。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本工作機械工業会、静岡県中小企業団体中央会</p>

業 種	産 業 動 向
楽 器	<p>4月の県内楽器メーカーの販売金額は、62億8,000万円（前年同月比 10.9%増）と、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、輸出向けが32億2,900万円（同 17.7%増）、国内向けが30億5,100万円（同 4.5%増）であった。</p> <p>ピアノ生産台数は2,985台（同 9.4%減）であった。機種別では、アップライトピアノが2,058台（同 4.9%減）、グランドピアノが927台（同 17.8%減）であった。また、販売台数は、輸出向けが1,981台（同 11.5%減）、国内向けが1,258台（同 13.8%減）であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県楽器製造協会</p>
紙	<p>4月の紙・板紙の国内出荷高は、2,110千ト（前年同月比で同水準（878トン増））と、3か月ぶりに前年実績を上回った。内訳は、紙は1,134千ト（同 0.3%減）と、5か月連続で前年実績を下回った。板紙は976千ト（同 0.5%増）と、6か月連続で前年実績を上回った。</p> <p>品種別では、主力の印刷・情報用紙が、628千ト（同 0.2%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。ティッシュペーパー、トイレットペーパー等の家庭紙は、160千ト（同 1.7%増）と、5か月ぶりに前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本製紙連合会「紙・板紙需給速報」</p>
缶詰・飲料	<p>4月の県内生産量は、食缶類が国内向け965千箱（前年同月比 4.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>分類別でみると、水産缶（国内向け）は678千箱（同 5.0%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。うち主力であるツナ缶は516千箱（同 5.3%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>農畜産缶（国内向け）は287千箱（同 3.4%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>飲料缶類は、国内向けが8,148千箱（同 2.8%増）と、4か月連続で前年実績を上回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県缶詰協会</p>
織 維	<p>4月の広幅織物の県内生産は、1,338千㎡（前年同月比 11.4%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。このうち、綿布が主体の一般広幅織物の生産は、1,296千㎡（同 11.0%減）と、6か月連続で前年実績を下回った。別珍・コールテンの生産は、42千㎡（同 23.0%減）と、4か月連続で前年実績を下回った。</p> <p>小幅織物の県内生産は、33千㎡（同 9.7%減）と、16か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞遠州織物工業協同組合、天龍社織物工業協同組合、浜松織物協同組合</p>
家 具	<p>4月の全国百貨店での家具販売額は、49億5,139万円（前年同月比 1.7%減）と、14か月連続で前年実績を下回った。また、大型量販店での家具・インテリアの販売額は、640億5,078万円（同 0.5%減）と、2か月連続で前年実績を下回った。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞日本百貨店協会、日本チェーンストア協会、地域産業課</p>

業 種	産 業 動 向
小 売 業	<p>4月の県内百貨店の売上高は、降雨日が少なく、気温の上昇に伴い春物衣料品が動き出したことにより、対前年比 2.0%増と3か月ぶりに前年を上回った。</p> <p>商品別では、主力の衣料品が同 1.5%増と17か月ぶりに前年を上回ったほか化粧品が同 13.9%増、美術・宝飾品・貴金属が同 11.7%増と好調が続いた。</p> <p>伊豆の総合スーパーへの聞き取りによると、新入学・入園等の行事関連商品が安定して売れていた。また、西部の食品スーパーへの聞き取りでは、他店舗が同じ地域に出店することにより、売上げが分散し昨年度に比べ減少した。</p> <p>4月の県内のある商店街では、県内外のバイク愛好家が集うイベントが開催され、買い物客のほかイベント参加者により商店街がにぎわった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県百貨店協会、静岡県地域産業課</p>
観 光	<p>4月の県内主要10観光施設の合計入込客数は約51万人と、前年同月比 0.6%減であった。今年は、平年より降水量が多く、特に休日に雨が降った日が多かったことなどが減少の要因と考えられる。</p> <p>主要有料道路（5路線）合計の通行車両数は、約70万台と、前年同月比 2.2%増であった。</p> <p style="text-align: right;">＜資料＞静岡県観光政策課</p>

＝ IVデータからみた県内主要産業 ＝

<二輪車>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
完成車生産台数(台)	13,421	13,818	20,095	24,249	19,835	19,174	22,068	27,781	21,687
前年同月比(%)	▲ 11.1	▲ 26.4	2.5	40.6	6.7	▲ 5.7	▲ 3.9	22.9	3.7
KD輸出額(百万円)	762	672	577	719	716	712	705	651	680
前年同月比(%)	7.7	▲ 15.4	▲ 10.2	▲ 0.8	▲ 22.4	▲ 3.8	▲ 1.9	▲ 7.7	5.3

<楽器>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
生産総額(百万円)	3,309	3,851	3,696	3,635	3,294	3,082	3,371	3,723	3,403
前年同月比(%)	1.7	4.2	▲ 10.7	▲ 0.5	▲ 10.2	▲ 8.0	▲ 6.5	▲ 2.6	▲ 11.3

<缶詰>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
食缶生産高(千ケース)	983	1,069	1,026	970	815	825	866	996	965
前年同月比(%)	14.9	18.0	5.1	0.4	▲ 7.2	0.2	3.9	▲ 0.2	▲ 4.5
うち水産缶詰(%)	10.7	9.7	0.4	▲ 3.5	▲ 12.4	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 0.1	▲ 5.0
農畜産缶詰(%)	30.6	51.7	20.8	13.3	8.0	5.3	25.1	▲ 0.4	▲ 3.4
飲料缶生産高(千ケース)	7,428	7,146	6,562	6,641	5,985	4,933	5,761	7,254	8,148
前年同月比(%)	3.6	0.2	3.9	▲ 1.9	▲ 7.4	14.2	12.4	1.1	2.8

<繊維>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
広幅織物(千㎡)	1,135	1,458	1,522	1,693	1,694	1,563	1,379	1,321	1,338
前年同月比(%)	3.4	8.2	0.5	▲ 5.8	▲ 3.1	▲ 3.1	▲ 4.7	▲ 9.7	▲ 11.4
小幅織物(千㎡)	26	30	31	32	33	33	35	34	33
前年同月比(%)	▲ 20.8	▲ 24.7	▲ 21.4	▲ 21.3	▲ 14.4	▲ 0.2	▲ 3.9	▲ 8.7	▲ 9.7

<観光>

	28年8月	9月	10月	11月	12月	29年1月	2月	3月	4月
観光施設(10施設)入込 (千人)	552	369	431	349	280	287	268	484	507
前年同月比(%)	1.2	▲ 22.8	▲ 6.2	▲ 11.4	7.4	1.8	2.7	▲ 3.8	▲ 0.6
有料道路(5路線)通行量 (千台)	862	677	711	701	741	678	688	777	699
前年同月比(%)	1.8	▲ 2.2	2.7	2.1	5.6	4.7	0.9	2.4	2.2

本書で掲載している県内の主要統計資料の時系列（過去10年間）のデータは静岡県公式ホームページの「統計センターしずおか」で公表しています。

静岡県公式ホームページ⇒統計・調査⇒統計センターしずおか⇒県内主要統計指標
<http://toukei.pref.shizuoka.jp/>

需要面	生産面	雇用面	その他
・大型小売店販売額	・鉱工業生産指数	・有効求人倍率	・国内企業物価指数
・百貨店販売額	・鉱工業在庫指数	・雇用保険受給者実人員	・県内金融機関貸出残高
・専門量販店等販売額		・完全失業率	・信用保証協会保証金額
・自動車新規登録台数		・所定外労働時間指数	・企業倒産件数
・新設住宅着工戸数			
・清水税関支所管内輸出額			
・清水税関支所管内輸入額			

提供いただいている資料

資料名	提供元	ホームページアドレス
公共工事請負金額	東日本建設業保証（株）	http://www.ejcs.co.jp/region/index.html
設備投資	日本銀行静岡支店	http://www3.boj.or.jp/shizuoka/kouhyou/hyousi_f.html
貸出約定金利		
国内企業物価指数	日本銀行	http://www.boj.or.jp/type/stat/boj_stat/index.htm
円相場		

参考となる全国の資料等

資料名	提供元	ホームページアドレス
鉱工業生産指数	経済産業省	http://www.meti.go.jp/statistics/index.html
大型小売店販売額		
専門量販店等販売額		
輸出入	財務省	http://www.mof.go.jp/siryou.htm
国際収支		
機械受注	内閣府	http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/juchu/juchu.html
完全失業率	厚生労働省	http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index.html
有効求人倍率		

静岡県月例経済報告
平成29年6月号 通巻494号

発行 静岡県経済産業部
平成29年6月

編集 経済産業部管理局政策監
〒420-8601
静岡市葵区追手町9-6
TEL 054-221-2635
FAX 054-221-3217
E-mail keisan-seisaku@pref.shizuoka.lg.jp
URL <http://www.pref.shizuoka.jp/sangyou/>